

2025年度全学統一入学試験問題

国語

(2月3日)

開始時刻 午後1時00分

終了時刻 午後2時00分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この冊子は17ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明及び解答用紙の汚れなどがあった場合には申し出てください。
3. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督員の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。

① 受験番号欄

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名とフリガナを記入してください。

4. 解答は解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、

10

と表示のある問いに対して◎と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の◎にマークしてください。

(例)

10	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
----	-----	-----	-----	-----	-----

5. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

次の文章を読んで、問一～八に答えなさい。

わたしたちは幼いときから、自分の周囲の世界を、自分の好みに応じて分類する作業を始める。「アイスクリームが好き。芽キャベツはきらい。サッカーは好き。宿題はきらい。海賊が好きだから、大きくなったら海賊になりたいな」。このプロセスは、年を取るにつれてますます複雑になるが、わたしたちが自分自身に対して持っている基本的^A前提は変わらない。「わたしはどちらかと言えば内向的だ」、「わたしはリスクテイカーだ」、「旅行は好きだけど、短気で空港セキュリティの煩わしさには耐えられない」。わたしたちが目指すのは、自分自身と世界に向かって「わたしはこういう人間だ」と宣言し、それを正当な評価として認めてもらうことだ。究極の目標は、自分自身を理解し、自分の本当の姿を、つじつまの合った形で描き出すことなのだ。

しかし人間は、一生の間に大いに発達し変貌を遂げる、複雑な存在だから、いつもそう簡単に、自分の積み重なった過去を理解できるわけではない。記憶や活動、行動が積み重なった厚い層の中から、自分の中核を象徴するものを何とかして選り出さなくてはならない。だがそうするうちに、さまざまな矛盾がいやでも目につく。たしかにわたしたちは自分の意思で行動することが多いが、諸事情からやむを得ず行動することもある。たとえばわたしたちの職場でのふるまいのうち、服装の選び方や上司に対する話し方などは、家庭や友人に見せるふるまいに比べて、ずっと堅苦しく、保守的なことが多い。わたしたちはこうした食い違いや曖昧さが入り混じったものをふるいにかけて、なぜ自分がそのような選択を行ったかを自覚し、その上で将来どのような行動をとるべきかを決めなくてはならないのだ。

(注1) エマーソンの弟子ウォルト・ホイットマンが、詩『ぼく自身の歌』によって、このジレンマを的確にとらえ、きわめて詩的な反論を展開している。

「ぼくが矛盾しているって？ 結構、では矛盾しているということにしておこう（ぼくは大きい。ぼくは多くのものを内に抱えている）」。だが内に抱える多くのもののつじつまを合わせるのは、そう簡単なことではない。特に問題が生じるのは、自分のいろいろな側面の間の矛盾や、信念と行動の矛盾に気づいたときだ。たとえば保守派を自負していたベントン^(注3)の女子学生は、リベラルな同級生たちと政治問題について語り合ううちに、相手の意見にますます共鳴していく自分に気がついた。自分のこの状態は、一体どういうことなのだろう？ 自分はつじつまの合わない、わけのわからない行動を取っているのだろうか、それとも周りの圧力に屈して、信じてもない意見に同調しているのだろうか？ どちらを認めても、自分が「理性的で裏表のない人間」だという自己像の、最も中核的な要素が脅かされることになる。相矛盾する二つの力の板挟みになるといって、この不快な状態は、^B「認知的不協和」と呼ばれ、不安、罪悪感、困惑を引き起こすことがある。

正常な心の働きを取り戻すには、不協和を解消しなくてはならない。イソップ物語の「すっぱいブドウ」の話を思い出してほしい。キツネはどう

にかしてブドウを取ろうとして、しばらくの間がんばってみるが、どうしても届かない。そこでキツネはあきらめ、こんな負けオし^アみを言って立ち去るのだ。「あのブドウは、どうせすっぱいに決まってるさ」。キツネの心変わりには、わたしたちが不協和を軽減するために本能的に取る方法の典型例だ。わたしたちは自分の信念と行動の矛盾に気づくとき、時間を巻き戻して行動を取り消すことはできないため、信念の方を、行動と一致するように変えるのだ。もし物語の筋が変わって、キツネがブドウをとうとう手に入れ、食べてみたらすっぱかったなら、キツネは努力が無駄になったと感じないために、**X**と、自分に言い聞かせることだろう。

人は認知的不協和を回避して、自分自身についてつじつまの合う物語を生み出す必要から、もともとは意に反して取り入れた価値観や考え方を肯定し、自分の価値体系の中に組み入れることがある。一例として、自分の個人的信念に反する意見、たとえば自分が反対する増税を支持する作文を書かされると、次第に自分が主張したその意見に賛成するようになることが、数々の研究により報告されている。ベニントンの学生にとって、不協和を軽減する方法は、大学に浸透していたリベラルな思想が、たしかに価値のある問題を中心としていたのだと思ひ込むこと、**Y** 自分はかねがねそのような考え方をしていたが、今になってようやくそれを表現する機会を得たのだと思ひ込むことだったのだろう。自己認識をこのように変えたからこそ、外的要因がその後も長きにわたって影響をおよぼし続けたのだ。

同様に、わたしたちはいったん一貫した自己像を作り上げると、それを裏づけるような選択を行うことで、不協和を事前に回避しようとする。ベニントンの女性たちの例で言えば、リベラル派の夫と結婚したり、リベラル派の友人と交際するといったことだが、同様のパターンは保守派にも、あるいは宗教団体、環境団体など、どんな集団にも見られる。**Z** このような行動は、純粋に不協和を回避するためだけに行われるわけではない。自分と似た人を探し、つき合うことで、わたしたちはキ^イゾク欲求を満たす。このように自分の意思で選んだ相手とのつきあいを通して、わたしたちの自己像は時間とともに定着し、周りの人たちにわかりやすいものになっていく。

首尾一貫した自分でありたいという欲求は、自分の人生をどう生きるべきかを考えるとき、ジレンマを生むことがある。一方でわたしたちは、一貫性のない行動は取りたくないし、一貫性のない人だと思われたくもない。「あなたのことがわからなくなった」と言われるとき、その言葉には、はっきりと否定的な意味合いが込められている。他人が認め、好感を寄せるようになった自己像にそぐわない行動を取れば、よくわからない人、信用できない人と思われてしまう。だがその一方で、現実世界は絶えまなく変化しているため、整合性にこだわらずに融通がきかなくなり、世間からずれていってしまう。

このようなジレンマの有名な例に、二〇〇四年の大統領選のできごとがある。民主党候補のジョン・ケリーが、主義主張に一貫性のない日和見主義者と批判され、打撃を受けたのに対し、ジョージ・W・ブッシュは、反対にあっても信念を曲げない人物として賞賛された。ところがブッシュは

いったん就任すると、「現地の実情」を軽視して、持論をオウムのようにただ繰り返すだけの人物と批判されたのだ。コメディアンのステイーブン・コルベアが、二〇〇六年にホワイトハウス記者クラブ晩餐会^{ばんさんかい}で、ブッシュに手厳しい「賛美」を捧げた。「このお方が何といっても素晴らしいのは、変わらないところです。水曜になっても、月曜と同じことを信じていらつしやる。たとえ火曜に何が起こったとしてもです」。要するに、わたしたちは変わっても変わらなくても非難されるのだ。一貫性と柔軟性のバランスを保つことがこれほど難しいのは、そのせいなのだ。

（シーナ・アイエンガー『選択の科学』による。設問の関係上、本文を改めたところがある。）

（注） 1・2 エマソン、ウォルト・ホイットマン——十九世紀アメリカの詩人。

3 ベニントン——アメリカのバーモント州南西部の町。

問一 傍線部ア、イと同じ漢字を含むものを、次の①～⑤のうちから一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが

イが 2。

ア オし み					イ キ ゾク				
①	セ キジツの面影が残る	②	セ キネンの恨みを晴らす	③	アイセ キの意を表する	④	大学にセ キを置く	⑤	セ キムを全うする

問二 傍線部A「基本的前提」とあるが、この説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つを選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答

番号は、 3。

- ① 人は、自分自身を理解するために、自分で行った周囲の世界の分類につじつまが合うような行動を選択すること
- ② 自分の本当の姿は、自分自身による評価ではなく世界が自分をどのように理解するかによって決まるということ
- ③ 自分を正しく理解するためには、世界に与えられる評価を意に介さず自分自身を観察する必要があるということ
- ④ 自分が幼いときから行ってきた周囲の世界の分類は、何歳になっても自分の正当な評価であり続けるということ
- ⑤ 人は、周囲の世界の分類を通して、自分自身に対しての自分の評価と世界の評価を一致させようとする存在だということ

問三 傍線部B「認知的不協和」とあるが、この説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解

答番号は、4。

- ① 自分に対する周囲の理解と自己像との大きな乖離により生じる不快な状態
- ② 自分の行動や信念が自己像と矛盾していると自覚した際に生じる不快な状態
- ③ 自己像の最も中核的な要素が他者に脅かされることで生じる不快な状態
- ④ 一つの矛盾の解消により新たな矛盾が発覚することで生じる不快な状態
- ⑤ 自分の個人的信念に反する価値観を肯定することで生じる不快な状態

問四 空欄Xに入る表現として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、5。

- ① どうせすっぱいだろうと思っていたんだ
- ② 明日もつと甘いブドウを探せばいいんだ
- ③ 自分はブドウが好きではなかったんだ
- ④ 自分はすっぱいブドウが好きなんだ
- ⑤ たまたま今日は運が悪かったただけだ

問五 傍線部C「それを裏づけるような選択」とあるが、この具体例として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、6。

- ① 日本社会に馴染みたい外国人の留学生が、日本のファッションや音楽を勉強する。
- ② ベジタリアンの友人が多い人が、周囲の影響を受けてベジタリアンになる。
- ③ 動物愛護の思想に共鳴した人が、動物実験を行う企業の製品を買うことを避ける。
- ④ リベラル派の人が、反対の立場を理解したいと思い保守派の友人と交際する。
- ⑤ 勉強が嫌いな人が、勉強せざるをえない環境に身を置くために学習塾に入る。

問六 空欄

Y・Z

に入る表現として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 解答番号

は、Yが 7、Zが 8。

- (a) もちろん
- (b) すなわち
- (c) あるいは
- (d) かえって
- (e) なぜなら

問七

傍線部D「ジレンマ」とあるが、この説明として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。 解答番号

号は、 9。

- (a) 整合性と柔軟性の均衡を保ちながらも、自己像にそぐう行動を取らねばならないという課題
- (b) 整合性に拘泥するあまり、かえって一貫性を欠き、日和見主義に陥るといふ本末転倒な状況
- (c) 一貫性と整合性のいずれを重視しても、周囲から非難されることに変わりはないという問題
- (d) 一貫性のある人間でありたいと願いながらも、他者からの信用を失いたくないという矛盾
- (e) 一貫性を追求すると変化に適応できなくなるが、柔軟性を追求すると信用を失うという葛藤

問八

傍線部E「手厳しい『賛美』」とあるが、この内容を説明したものとして最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号を

マークしなさい。 解答番号は、 10。

- (a) ブッシュ大統領は、日和見主義のケリーと異なり一貫性があつて、容易に信念を曲げない人物であるという賞賛
- (b) ブッシュ大統領は、一貫性を重視するあまり現実世界の変化を無視する、柔軟性に欠けた人物であるという批判
- (c) ブッシュ大統領は、主義主張が一貫した芯のある人物ではあるが、柔軟さも持つべきであるという厳しい助言
- (d) ブッシュ大統領は、整合性への拘りが強く信頼できる一方で、「現地の実情」を正しく把握できていないという苦言
- (e) ブッシュ大統領は、柔軟性のある政治を掲げていながら、実際は全く融通がきかない人物であるという非難

次の文章を読んで、問一～六に答えなさい。

辞書を作る仕事にたずさわっていた期間、辞書をどのようなものとして考えるかについて、いつも私の念頭にあったのは見坊豪紀けんぼうひでとしさんの辞書観でした。見坊先生に直接お目にかかったことは一度もありませんでしたが、先生が語られ書かれた、辞書に対する熱い思いは、辞書作りにかかわる者が知らずに済ますことができるものではありません。その数々の示唆に富む考察の中で、私にとってもっとも直截ちよくせつ的で分かりやすいのは、「辞書 かがみ論」という先生の一貫した辞書論です。それを、先生が編集主幹をされた『三省堂国語辞典』第三版（一九八二年刊）の序文から引いてみましょう。

辞書は、かがみである―これは、著者の変わらぬシンジアョウであります。

辞書は、ことばを写す 鏡 であります。同時に、

^A辞書は、ことばを正す 鑑 であります。

鏡 と鑑 の両面のどちらに重きを置くか、どう取り合わせるか、それは辞書の性格によってさまざまでありましょう。ただ、時代のことばと連動する性格を持つ小型国語辞書としては、ことばの変化した部分については 鏡 としてすばやく写し出すべきだと考えます。鑑 としてどう扱うかは、写し出したものを処理する段階で判断すべき問題でありましょう。

そのことばを見出しに立てる、ということがまず大切です。

これは、辞書を編纂・記述するときの姿勢として記述主義（客観主義）と規範主義との二つの態度をあげ、まず社会のことばのありようを調査しそれを辞書に反映させること、次にありうべきお手本となることばのすがたを提示すること、それを現代語辞典の役割だと宣言されたものです。

このとき、先生の姿勢は規範主義に向かいながらも、まず世間でことばがどんなありようをしているかをしっかりトライえることが第一であるとされています。^B辞書の編集には用例の採集が先行しなければなりません。しかし、この仕事がいかに大変なものか、見坊先生はそれを身を以て示されました。つまり、生活のほとんどを用例の採集に充て、とうとう辞書の編集・執筆よりも用例採集を優先させてしまったのです。かくして、一四五万枚の「見坊カード」が、どの国語辞典編者も超えることのできない見坊さんの仕事として残りました。

個々の辞典はつねに記述主義と規範主義の二つのあり方の間で自身の位置を定めているわけですが、特に積極的に規範主義の立場に立つということには少ないように思います。どちらかと言えば、辞典編纂者は日本語の学者・研究者として、社会の言語の観察者・分析者の位置、客観的な位置に身を置きがちです。それは具体的には、あらたに生まれた意味や用法、言ってみればことばの変化に対する寛容な姿勢として現れることになりました。

当然見坊先生はそのことを承知していました。辞書が社会のことばの「鏡」であらんとすれば、「ある人々にとっては美しくない日本語、珍奇な日

本語、間違った意味などが、どやどやと辞書のなかにはいつてくること」になります（『ことばの海をゆく』朝日新聞社、一九七六年刊）。それは辞書が悪いのではなく、世間のことばがまさしくそのようにあるということなのですが、辞典のそのような現れは、今度は辞典編集部と辞典読者との対立になりかねない側面を持つものなのです。辞典を引こうとする人は多分に辞典に規範（鑑）を求めているからです。

辞書の利用者は、辞典編集者が考える以上に、辞書を規範として受け取ろうとしています。ことばの正しい書き方、正しい意味、正しい使い方、辞書を使う目的はもっぱらそれを知るため、確認するためなのです。辞典編集部への問い合わせは、そのほとんどが「正しい」日本語を知りたいとするものです。「AとBと、どちらが正しいか」の問いに、「どちらもありますよ、どちらでもいいのです」と答えることが多いのですが、「それでもどちらが適当か」と食い下がられます。「使う方の好みです」などと繰り返していると、大半の読者は怒ります。「どちらでもいいのなら辞書は要らん」、たしかにそうかも知れないと思います。

いくらか歴史的に、「昔はこう使うことが多かったのですが、近年はこう使う人も多くなりましたね」と答えることもあります。すると、「やはり、最近のことばは乱れている」と残念がられます。つい「いや、ことばはたえず変化するものです」などと言ってしまうと、「それを正すのが辞典の役目だろう」と、またしても美しい日本語を守れ、とハゲ^ウまされてしまいます。

いかに残念であろうとも、多くの人が普通に使っている「誤用」を辞典が正すことはほとんど不可能です。誤用には誤用の理屈があるからです。実態に合わないのに規範を説くことが辞典の態度として正しいか、これはつねに辞典作りにかかわる最大難問です。

法則性を持った誤りはことばの変化です、誤りが大多数の人の誤りであればそれも変化です。日本語は千何百年以上にわたって、誤用を重ねて今日に至りました。自ら省みて直くんば千万人と雖も吾往^{われ}かん^{いふ}というのは、個人の美意識ではあっても、X ことばの世界ではあり得ないことのように思われるのです。

（増井元『辞書の仕事』による。設問の関係上、本文を改めたところがある。）

問一 傍線部ア～ウの漢字と同じ漢字を含むものを、次の①～⑤のうちから一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが

11、イが 12、ウが 13。

ア シンジョウ

- ① ジョウケイを描写する
- ② ジョウケンを整理する
- ③ ジョウチヨウな表現
- ④ 胃薬をジョウビする
- ⑤ ジョウセキ通りの戦略

イ トラえる

- ① リソクを算出する
- ② 身柄をコウソクする
- ③ 距離をソクテイする
- ④ 開発をソクシンする
- ⑤ 相手の意図をホソクする

ウ ハゲまされ

- ① 毎年コウレイの行事
- ② レイジョウを投函する
- ③ レイタンな態度をとる
- ④ 学問をショウレイする
- ⑤ ゴウレイをかける

問二 傍線部A「辞書は、ことばを正す」鑑「であります」とあるが、この説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄

の記号をマークしなさい。解答番号は、 14。

- ① 辞書は、ことばがいかにあるべきかを示すものということ
- ② 辞書は、世間で使われていることばの実情を表すということ
- ③ 辞書は、ことばのありようを客観的に記述するものということ
- ④ 辞書は、ことばをより良いものにするためのものということ
- ⑤ 辞書は、利用者が参照したいと思えるものであるべきということ

問三 傍線部B「辞書の編集には用例の採集が先行しなければならない」とあるが、それはなぜか。この理由として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、15。

- (a) ことばのあるべき姿を示す辞書を作るためには、社会で正しいとされていることばの用法を知る必要があるから。
- (b) ことばの誤用を指摘する辞書を作るためには、まず社会でどのような誤用が使われているかを知る必要があるから。
- (c) ことばの変化の経緯を的確に示すための辞書には、古代から現代までの多種多様な用例を載せる必要があるから。
- (d) ことばのあらたな意味や用法に重点を置いた辞書においては、読者が納得するだけの豊富な用例が必要であるから。
- (e) ことばの変化を辞書にすばやく反映させるためには、社会で使われていることばの実態を把握する必要があるから。

問四 傍線部C「特に積極的に規範主義の立場に立つ」ということは少ない」とあるが、それはなぜか。この理由として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、16。

- (a) 辞典が正しいことばを提示するためには、むしろ記述主義を貫くべきであるから。
- (b) 編集者がことばの変化に寛容になってしまうと、ことばの乱れが進行してしまうから。
- (c) 編集者が学者として、ことばの変化を受容する客観的な立場をとる傾向があるから。
- (d) 編集者が記述主義の立場をとらなければ、利用者が納得する辞書にはならないから。
- (e) 辞典は本来規範主義と記述主義の間にあるもので、片方に偏るべきではないから。

問五 傍線部D「辞典編集部と辞典読者との対立になりかねない側面を持つ」とあるが、それはなぜか。この理由として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、17。

- (a) 編集者がことばの正しさには全く関心を持たない一方で、利用者は辞書に正しいことばを示すことを一番に求めるから。
- (b) 編集者が美しくない日本語が辞書に載ることを甘受する一方で、利用者は辞書に美しい日本語を提示することを求めるから。
- (c) 編集者がことばの誤用が広まることを可能な範囲で防ごうとする一方で、利用者は全ての誤用を正すことを辞書に求めるから。
- (d) 編集者が社会のことばを如実に反映した辞書を求める一方で、利用者はことばの正しいありかたを示した辞書を求めるから。
- (e) 編集者がことばの変化に寛容な姿勢をとる一方で、利用者は言語の分析者としての立場に立つことを編集者に求めるから。

問六 空欄

X

に入る表現として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

18

。

- ① 社会性を持った
- ② 伝統を重んじる
- ③ 規範主義的な
- ④ 個が尊重される
- ⑤ 誤用を忌避する

メ モ

試験問題は次に続く。

次の文章を読んで、問一～六に答えなさい。

人の顔色を窺^{うかが}う子供だった。

「何が食べたい?」「何して遊びたい?」

と友達に聞かれても、私にはいつも、食べたいものもソツ^アセンしてやりたい遊びも、何もなかった。場の空気を壊さないこと、誰かを嫌な気持ちにさせないこと、そのことによって弱い自分を守ること。それが私の行動原理の全てだった。小説を書く、という行為にのめりこんだのは、そういう子供にとっては、必然のことだったのかもしれないと思う。【①】

人生で最初に最後まで書きあげた小説は、ルーズリーフを横向きにして書いた、五つ子の女の子のお話だった。さや香とさや美とさや江とさや留とさや子、という酷いネーミングセンスの顔がまったく同じ五人姉妹だったが、さや美はしっかりもので勉強ができてナイスクラップの服が好きだとか、さや子は明るくて字が丸文字で、ミルクの服を着ているとか、五人の歩き方を実践しながら考えたり、細かい設定を作っていくのが楽しかった。

【②】

ルーズリーフにいろいろな小説を書いているうちに、自分の字に表情があるのが気になるようになった。五人姉妹の筆跡をそれぞれ考えて、「これはさや美の字、これはさや留の字」などと遊んでいたせいもあったのかもしれない。さや江でもさや子でもない、「作者」の字に、手書きでは私自身の表情が付いたままなのが、気になった。

その頃私は少女小説を熱心に読んでいた。自分の文章が自分の筆跡ではない、「活字」というものになったらどんなにうれしいだろうと、プロの作家に憧れるようになった。【③】

小学六年生の頃、母が半分お金を出してくれて、残りはお年玉で払い、ワープロを手に入れた。感動だった。インクリボンで自分の文章を印刷すると、手書きの時にはわからなかった、言葉^Aそのものの手触りを知ることができる気がした。プロの人々は皆、自分の字を明朝体にするために小説家になったのだと勘違いしていたので、「ワープロが普及したらこれから小説家になる人はいなくなってしまうのではないか」と的外れな心配をした。

【④】

しかし、自分が「小説家になりたい」と思ったのは、それだけが理由ではないと気が付く出来事があった。同じく六年生の頃、三、四年生が使うトイレの掃除を担当することになった。その時、一人が「トイレ新聞を作らない?」と言いだした。毎週、壁新聞を作ってトイレに貼りつけたら、三、四年生が喜ぶのではないかと言ったのだ。私は小説のコナーを担当した。自作を載せてみようか少し悩んだが、恥ずかしかったので、(今思えば著

著作権違反で本当に申し訳ないが）ある少女小説を書き写して掲載した。

ものすごい反響だった。トイレ新聞の下に貼った感想コーナーには、びっしりと「続きを楽しみにしています！」と幼い女の子の字が並んだ。それを見た時、その少女小説の作者が、モウレツにうらやましくなった。自分の小説をワープロの中に閉じ込めておくのではなく、小説家になって、小説を読んでもらいたい。初めて、切実にそう思った。【5】

中学生の時、少女小説の賞に自作の小説を応募しようと思ったことがある。その時、私は、小説のためではなく、小説家になるために小説を書こうとした。ワープロの中にあるのは、小説とは呼べない、ただの汚い自意識の塊だった。

「小説を汚した」^B

とその時思った。その時のことを、私はどうしても忘れることができない。自分にとって唯一の、顔色を窺わずに、自由に祈ることができる小説という教会を、汚してしまった。中学生の私にとって、それはほとんど死ぬことと同様だった。

十三年前、群像新人文芸賞の優秀作に選んで頂いて小説家としてデビューしてから、その罪の意識は消えなかった。小説家という職業を素晴らしいカタガキのように言われると吐くし、「村田先生」という宛名の手紙が届いても吐いた。中学時代のことかどれだけトラウマになっているのか、自分の前世はポンプなんじゃないかと思うくらい、よく吐いた。

編集さんと打ち合わせをする時は、一時間前から待ち合わせ場所付近のトイレの中で緊張していた。けれど、だんだん、自分が書きたい世界を強固にしてくれる、Xになろうとしてくれる人たちなのだとわかり、心を開くことができるようになった。

とても子供っぽいかもしれないが、今でも、私は、小説そのもののためではない理由で小説を書くことができない。その時の自分を思い出して、やっぱり吐いてしまうのだ。こういう体質で編集さんを困らせているなあとは思いますが、十三年間治らなかったで、きつと一生こうなのだろうなと思う。そして、それを許してくれる方々にとても感謝している。

「コンビニ人間」は、とても大好きな編集さんと、たくさん言葉を交わしながら書いた小説だった。編集さんからもうすぐ異動になるかもしれないと言われ、人生で一番の速さで書き上げた。書いている途中、他の編集さんから、「村田さん騙されてるよ」^{だま}と言われた。結局、編集さんは本当に異動だったのだが、「ごめんなさい、本当は、異動になるとはまったく思っませんでした」と笑顔で言われ、ちよつとうれしかった。小説のために私を騙してくれたおかげで、この作品が完成した。

吐いたり騙されたりしながらも、こんな私が、なんとか作家として十三年間やってこられたことを、とても不思議に思う。物凄く周囲に恵まれてきたし、奇跡のようなことが沢山あった。全ての奇跡と、素晴らしい共犯者の皆さんに、とてつもなく感謝をしながら、新しい原稿を書こうとしている

る。昔ほど顔色を窺うことはなくなったが、やっぱり小説の中は私にとって、定期的に通っていないと不安定になってしまう教会のような場所なのだ。だから、これからも通い続けたいと思う。

（村田沙耶香『私が食べた本』による。設問の関係上、本文を改めたところがある。）

問一 傍線部ア～ウの漢字と同じ漢字を含むものを、次の①～⑤のうちから一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが

19、イが20、ウが21。

ア ソツセン

- ① ソツキョウで演奏する
- ② 王のソツキンとして仕える
- ③ 暑さのあまりソツトウする
- ④ ソツチヨクな感想を述べる
- ⑤ ソツカン性のインク

イ モウレッツ

- ① フモウな議論に終わる
- ② ユウモウ果敢な戦士
- ③ モウゲンを吐く
- ④ 体力をシヨウモウする
- ⑤ モウドウ犬を連れる

ウ カタガキ

- ① プロにヒケンする実力
- ② ケンジツな生活を送る
- ③ 社会にコウケンする
- ④ ケンシヨウに応募する
- ⑤ ケンメイな判断をする

問二 傍線部A「言葉そのものの手触りを知ることができる」とあるが、それはなぜか。この理由として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一

つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、22。

- ① 手書きの文章には作者の表情がつくが、ワープロで打った文章には登場人物の表情がつくから。
- ② 小説を活字にすることが作家の目標だと思っていたため、筆者自身もプロの作家になった気分であったから。
- ③ 一切の表情が排除された活字の文章においては、言葉の美しさではなく、言葉が持つ意味内容が強調されるから。
- ④ 筆跡により表情を持たせることができない活字の文章においてこそ、作家の力量が問われるから。
- ⑤ 文字が均一になることで、文章は筆跡という表情を失い、純粹に言葉自体が与える印象が際立つから。

問三 本文中には次の一文が脱落している。この文が入る箇所として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしな

さい。解答番号は、23。

小説は、私にとって顔色を窺わないでできる、唯一の行為だった。

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| e | d | c | b | a |

問四 傍線部B「小説を汚した」とあるが、このときの筆者の感情の説明として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号を

マークしなさい。解答番号は、24。

- (a) 夢を叶えるために、小説を書くときは他人の顔色を窺わないという信念を捨てたことに対する後ろめたさ
- (b) 心の拠り所であった小説を書くという行為でさえ、他者の目を気にせずにはできなくなったことに対する絶望
- (c) 小説家になることを意識して書いた小説の出来栄が、理想とはかけ離れていたことに対する失望
- (d) 他者の目を意識して小説を書いたことで、自分が自由でいられる神聖な場を冒したことに対する罪悪感
- (e) 小説家になるために小説を書いたことで、小説そのものの価値を下げてしまったことに対する後悔

問五 空欄Xに入る表現として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、25。

- (a) 殉教者
- (b) 指揮者
- (c) 共犯者
- (d) 先駆者
- (e) 偽善者

問六 本文の表題として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、26。

- (a) 言葉の手触り
- (b) 自意識の塊
- (c) 小説という教会
- (d) 罪の意識
- (e) 奇跡の十三年間

